

2016年(平成28年)11月28日(月曜日)

ハーモニカと「一人語り」

三宅小 防災意識を高揚

【三宅島】三宅小学校(小川広樹校長・児童77人)で11月18日、6年生のキャリア教育推進と防災意識を高めるため、女優の三咲順子さんとハーモニカ奏者の寺澤ひろみさんを講師に招いて公演を行った。

児童全員が体育館に集まり、小川校長の歓迎の言葉に続いて担当教諭から2人のプロフィールが紹介された。三咲さんは女優、ピアニストとして活躍するかたわら、ボランティア活動にも力を入れ、「一人語り」という独自のスタイルを確立して2005年から防災一人語り推進グループ活動の演者として全国を回っている。

ハーモニカ奏者の寺澤さんは、2001年にドイツで開かれたフェスティバル複音ハーモニカ部門で初出場ながら優勝した経歴を持つ。

この後、6年生の筑波大輝さんの号令で児童全員があいさつして演奏に入り、寺澤さんはハーモニカの種類やハーモニカを始めたきっかけについて話しながら「さんぽ」「カエルの合唱」「アナと雪の女王」などを披露。

三咲さんは三宅島で起きた噴火をテーマにした「迷子権」「三宅島大噴火」を語り、ピアノで上演した。

最後にピアノと歌で「ビリーブ」「まあるいのち」も披露。公演後、児童からは何曲ぐらい演奏できるのか、いつから始めたのか、などの質問や「すごい」といった感想が聞かれた。



三咲順子さんの「一人語り」

児童からは何曲ぐらい演奏できるのか、いつから始めたのか、などの質問や「すごい」といった感想が聞かれた。